

市ヶ尾中Times

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

発行者：校長 竹下 恭子
市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

令和4年は再始動の1年でした ～人とのつながりを実感～

今年の世相を表す漢字1文字は「戦」でした。ウクライナ情勢、物価高など不安定な経済、スポーツの熱戦など、確かに頷ける漢字であると思いました。一方で学校はどうでしょう。コロナ禍であることには変わりはありませんが、行動制限の幅が修正され、昨年と違って少しずつですが「時間」が動き出していくのを実感する瞬間が度々ありました。中止や延期になっていた取組をやり方を変えながら復活。まさに、「再」の1文字が当てはまるのかもしれない。

3年ぶりに実施できた3年生の課題探究学習、地域との交流行事、文化学習発表会(合唱発表)など。オンラインだけでは味わうことのできない実際の体験や経験、人とのつながりを感じることができました。

部活動の上位入賞、大会出場
横断幕 12月現在の様子



先月、毎年1,2年生で学習する福祉体験学習として講話を招き、手話体験をしたり、福祉施設の方とオンライン授業を通して交流を深めたりしました。また1年生の廊下壁には「しあわせムーブメント」というテーマで生徒たちが考案した、だれにとっても優しい工夫されたアイデアグッズの展示物(学習のまとめ)が掲示されています。

今年もユニクロ「服のプロジェクト」実施
沢山の協力ありがとうございました



2年生の廊下壁には「共生社会の実現に向けて私たちの〇〇Life」という自分たちが提案するより良い社会が掲示されています。

保護者の皆様には見通しがつかない状況が多々あったにもかかわらず、今年教育活動を支えていただき、ご協力いただきました。一人ひとりの子どもたちが、精一杯自身の今の力を発揮できるように、これからもさまざまな機会を大切に取り組みでまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

◆◇小中合同朝のあいさつ運動◆◇

12月2日(金)～12月9日(金)、今年も小中ブロック3校(荏田西小、東市ヶ尾小)の児童生徒による朝のあいさつ運動を実施しました。12月は横浜市いじめ防止啓発月間でもあります。生活委員の皆さんが中心となりこれまでのあいさつ運動をさらにパワーアップさせて声掛けをしました。今年も小中ブロック学校運営協議会委員の方も見学に来られました。学校運営協議会でも度々協議の中心となる「あいさつ」。互いにあいさつを交わすことはコミュニケーションが広がる第一歩だととらえ今後も活動を続けていきます。



☆人権特設授業 (全学年)

12月20日(火)全学年で人権特設授業を実施しました。講師としてお招きしたのは、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 海外事業部ご勤務の佐藤秀美さんです。この特設授業の事前学習として16日全体道徳を行い、世界の中での日本が抱える課題、人口、経済、教育について学んだところでした。当日は中東やアフリカ、主にシリア難民の子どもたちへの実情や国民避難民への教育支援の様子をスライドも交えて見せていただきながら佐藤さんのお話を伺いました。子どもの権利条約4つの原則にあるように「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」という当たり前で基本的なことを忘れてはいけないことを実感するお話でした。

4 質の高い教育を
みんなに



学校図書館より 後期読書活動のまとめ ～人と人をつなぐ読書活動～

図書委員会では「子ども読書の日の取組」として、10月24日にLife with Reading～読書の秘訣カード～のワークショップを行いました。「Life with Reading」は読書のコツや楽しみ方を語りあうことで「ちょっといい読書」に近づくことを目的としたワークショップです。読書にまつわる悩みには「時間がとれない」「どんな本を読んでいいかわからない」などがありますが、このカードにある「読書のコツ」や仲間との対話の中から解決のヒントを得てよりポジティブに読書に向かうことができるようになります。

参加した生徒からは「人には人の楽しみ方がある。それが面白い。」「新しいジャンルにチャレンジするきっかけになる」「本の選び方、読み方が一人一人違って、どれも楽しそうでやりたくなった」など読書のコツを得た喜びが寄せられました。また、「ワークショップは友達と仲良くなるきっかけになる」など読書的话题を友達と共有する喜びを感想に書いた生徒も多かったです。3回目の今回は図書委員でない生徒の参加を募ったところ7名がゲスト参加し、「楽しかった」「参加してよかった」との感想をいただきました。

実は、今回は横浜市消費生活総合センターの取材を受けながらの実施でした。テレビカメラが回り、様子を見守るお客様があつたので例年より緊張気味でしたが、終了後のインタビューでは自分の思いを丁寧にお話するなど立派に応じていました。ワークショップをした後の図書委員会は学年の壁がなくなり仲良くなります。今後も折を見て実施しますので未経験の方はぜひ参加して「読書」の話題を通して人とつながる心地よさを体験してほしいと思います。



生徒指導専任からメッセージ

ネットの危険から身を守るために～中高生を取り巻く SNS のトラブル～

◇何気ない投稿で人を傷つけていませんか？

中学生・高校生の SNS トラブルの発端として最も多いのが「画像」や「動画」の投稿によるものです。撮った写真や動画をすぐに共有できるという SNS の機能はとても便利なものです。しかし、何気ない気持ちで SNS にあげてしまったものが思わぬトラブルに発展することもあります。

「この投稿は24時間で消えるから～」「非公開にして、自分のフォロワーしか見ていないから～」誤って一度 SNS にあげてしまったものを、完全に消すことは非常に困難です。

相手が嫌がる写真や動画を投稿することや、画像を加工して相手の名誉を傷付けることなど、事例は様々ですが、これらは罪に問われるものもあります。また、深刻なケースでは、ネットいじめへと発展し、人命に関わる重大な事件になることもあります。

「ノリでやってしまった。」では決して済まされないことを、もう一度心に留めておきましょう。

◇誰かれ構わず SNS の友人を増やしていませんか？

SNS は本来、自分の親しい友人同士でつながり、楽しさや安心できる関係をつくるものです。しかし、SNS の中には関係のありそうな人を機械的に探し、次々とつながりを拡張する仕組みになっているものもあります。世の中には悪意をもって SNS を閲覧する人がいることは否定できません。

「ダイレクトメッセージが来たから返事をする。」「相手がフォローしているから、何となく自分もフォローする。」人とつながるハードルが低いからこそ、機能やリスクも知った上で、自分にとって本当に必要なつながりかどうか考えてみるとよいかもかもしれません。冬休み中にご家庭でも改めて話題にいただけると良いですね。

■12月27(火)28(水)および1月4日(水)5(木)は学校閉庁日です。日直の先生はおりません。

緊急な連絡の場合は、北部学校教育事務所まで(045-944-5978)お願いします。